



## 上海情報 2010年5月号

【情報提供】 【編集 / 提供】 (株)葵ビジネスコンサルタンツ

\* 上海葵 Office; 上海青葉商務諮詢(有)内

: 021-6125-6817 (日本語専用線)

\* 東京本部; 横田税務会計事務所内

東京都大田区東馬込 1-12-12 横田会計ビル 2F

: 03-3775-1220 URL: <http://www.aoibc.com>

### 【上海生活】

上海で生活している方には、良く理解できる「話題」になります。

#### エスカレーター; 左歩・右立

大阪ルールと同じになります。急ぐ方は、左側を利用して歩いて上がり・下がりして、ゆっくりとする場合は、右側に立って利用します。

上海では、左側に立っていて、エスカレーターを歩けなくされる事が多く見受けられます。そこで、他の歩行者の利用を邪魔している人を見ていると一定の傾向が判ります。左側で立ち止まっている人の多数は、「年配の方」と「外来人」(上海人が、自分たち以外の中国人に対する蔑称)で、服装や立振舞いから何となく判断できます。

#### エレベーターでの「謝々」

入る方や出る方のために、「Open」ボタンを押し続けていると、日本では「ありがとうございます」と言われたり、感謝の意味で「頭を下げられたり」する事が普通でした。中国;上海では、何もナシ! もちろん、感謝を要求しているのでは、ありませんが何となく、寂しいものです。

ところが、09年の1年間で、「Open」ボタンを押していると5回も「謝々;シェイシェイ」と言われました。そんな感謝の言葉を言われると、逆にビックリして、言った方はどんな人かと眺めてしまいました。しかし、その発言者が「中国人」なのか、中国語ができる他国籍の方なのかは、不明です。

#### 小売業

コンビニ・スーパーも多数ある上海です。5~6年間だと中国系が目立っていましたが、現在ではその存在感が薄くなってきました。

- ・ コンビニは、やはり、日系企業が強く、7/11(台湾系)・ファミリーマート・ローソンです。中国系コンビニは、上海では減少していますが、江蘇・浙江省の都市へ進出していました
- ・ スーパーですとウォールマート(米系)・テスコ(英・タイ系)・カルフル(仏系)が急速に、店舗を増加しています。但し、サービスは中国的になっています

顧客よりも「社員の私事・都合」を大切に重要視していて、Single 業務でどんなに

自分の担当分野が暇でも他業務には、関心を持たずに、支援もしません。更に、「レジ待ち」が長くなっても平気です。ここにこそ、今後のビジネス・チャンスがありそうです。

### 携帯電話

東京と大きな相違点は、この問題になります。中国；上海では、公共の場所でも、地下鉄やバスの中でも、堂々と大きな声で、他人の迷惑を考えずに、話しているのが通常の、普通の風景・出来事になります。 静かな東京が懐かしいです。

(F;記)

### 【目立ってきた“日本人”】

上海に初めて来た 2001 年とこのごろ；2010 年を比較して、特に、目に付いている日本人達がいいます。

2002 年ごろに、「経理・会計」の理解できる、話の通じる日本人と言えば、主に、同業者のコンサルタントか、金融関係者の方々だけでした。2010 年ですと、一般的な法人「製造業・販売業」にも、経理(会計)を理解しているか、または経理知識を持っているだろう日本人が、ポツ、ポツと赴任して来ています。

毎月、上海で開催している OVTA「中国会計」セミナーでも、参加者の内、何人かは良く経理を判っているように思えます。つまり、中国会計に不信感を持っている、自社の会計処理に納得が行かない日本人が、増加した事になります。

専門的な「会計語」で話せて、中国会計を更に、理解するために、上海「会計人」会を発足させました。

第 1 回と 2 回・3 回の勉強会を終わってみて、やはり、償却費や引当金・債務超過等の専門的な言葉を使っても、参加者が理解できていたので、スムーズに進められました。ただし、別な意味だと「**上海の最も不幸な人々**」の会が、最も相応しいのかもしれない。

=この皮肉な意味を納得する方は、経理・会計を判り、中国会計の現状を良く知っている方でしょう。 **上海「会計人」会への参加を歓迎します！**

；以上、CM でした。

(F;記)

中国；上海で『国際会計』に携わっている会計人専門家で、09 年秋から勉強会・情報交換のグループを結成しました。 ；参加希望の方はご連絡ください